

学校図書館だより



平成30年1月23日
 横浜市立森の台小学校
 校長 酒井 浩明
 図書主任 清水あゆみ
 学校司書 近江弥穂子

No. 9

2018年になり、約2週間経ちました。

冬休み前の休み時間は本を借りるために連日長い列ができていましたが、冬休みはゆっくりと本を読むことができたでしょうか。今年も新しい本が続々と図書室に入ってきています。子どもたちの読書への意欲を継続していけるようにしたいと思います。

冬は寒さのため、室内で過ごすことも多いです。温かくして、家族そろって読書する時間を作ってみてはいかがでしょうか。

学校図書館からのお知らせ

●今年度最後の「森小 おすすめの本120冊」へのチャレンジが始まりました。

みなさん、ピンク、ブルー、イエローの各コースがんばりましょう！！

●読書の記録も100冊目指してがんばってください！！

先生のおすすめ本

天野先生 (1-1)	金原先生 (1-2)	滝口先生 (家庭科)	増子先生 (家庭科)
「大村智ものがたり 苦しいこそ人生」 馬場錬成 著	「超辛口先生の 赤ペン俳句教室」 夏井いつき 著	「任意の点P」 慶応義塾大学佐藤雅彦研究室 中村至男 著	「ぼくのニセモノを つくるには」 ヨシタケシンスケ著

学校図書館に
あります

学校図書館に
あります

相模原市の美術館でお目にかかった大村さんは、にこにこして、絵が大好きなどこにでもいらっしゃいそうなおじいちゃんでした。イベルメクチンを発見し、アフリカの何億人もの人々を失明の恐怖から救った「平成の野口英世」の感動のお話です。

バラエティ番組『プレバド!!』で、俳句が取り上げられています。その講師である夏井いつきさんが書かれている本です。問いに対して答えがわかりやすく書いてあるので読みやすいです。自分で考えた俳句、意外と季語が二つ入っていて「季重なり」になっていませんか。俳句の入門書です。

何の変哲もない2枚の絵を、本についている不思議なメガネで覗いてみると…?! ピタゴラススイッチで有名な佐藤雅彦さんの本です。「読む」というよりは、「体験する」、大人も子どもも楽しめる本です。

宿題、手伝い、部屋のそうじ、やりたくないことだらけだった「ぼく」はロボットを買い、自分のニセモノになってもらう作戦をたてます。「自分がどんな人なのか…」絵がかわいくて読みやすく、自分をみつめ直していくことができる一冊です。

トピックス ～徳川綱吉（とくがわつなよし）～

徳川 綱吉は、江戸幕府の第5代将軍です。3代将軍・徳川家光の四男として江戸城に生まれます。兄は第4代将軍の徳川家綱で、彼の名前の「綱」の字を受けて綱吉と名乗ります。家綱には跡継ぎとなる男子がなく、ほかの兄弟もすでに亡くなっていたため、家綱が死去した後に将軍職を継ぎます。彼が目指したものは、戦国の殺伐とした気風をなくしていく中で、徳を大事にする文治政治へかえていくことでした。政治的な特長としては、側用人という新しい仕組みを作り老中などの幕閣の干渉を上手にかわしながら将軍主導の政治形態をうみだしたこと、また、勘定吟味役・荻原重秀の政策を取り入れ、貨幣改鑄という現代の管理通貨制度に通ずる画期的な政策を実施したこと、などがあげられます（ただし、貨幣改鑄は残念ながら、時代の流れにのらず、結果的には失敗に終わりました）。文化的な面では、綱吉は学問を好み儒学を奨め、その中心地として湯島聖堂を建立しました。また、綱吉の治世下は、近松門左衛門、井原西鶴、松尾芭蕉といった文化人により、上方を中心に元禄文化が開花した時代でもあります。一般的には綱吉は、「生類憐れみの令」を制定した「偏った考えを持ったおろかな君主」というイメージが強いと思いますが、この法令を、「犬などの動物を人間より大事なものとする悪法」とであると誤解している方も多いと思いますが、実はこの中で最初にうたわれているのは、「捨て子への保護政策」です（ちなみに、6代将軍の家宣は、「生類憐れみの令」の中で、動物に対する保護政策は廃止しましたが、捨て子への保護政策は継続しています。そういう意味で、「生類憐れみの令」は部分的に継続したことになります）。歴史上の人物の中で、綱吉は再評価されるべき一人ではないかと思えます。

今月のおすすめの本

「もうひとつの
ワンダー」

R・J・パラシオ作

「ワンダー」は5年生で一番貸出しの多い本です。「ワンダー」の続編は出ないと作者は宣言していましたが、「ワンダー」の反響が大きく、そしてアメリカで「ジュリアンになるな運動」が起こったため、作者がこの本を書きました。本作ではオギーとの出会いによってそれぞれがどんな影響を受けたか綴られています。

「幸せとまずしさの教室」

世界の子どものくらしから」

石井光太 著

フライドチキンが貧しい人たちが発明した食事だと知っていますか？2014年、小学校に通っていない子どもの数は約5700万人です。また、1日1.25ドル以下で生活している人の数は約12億人です。路上に生きる世界の子どもの現実をわかりやすく伝えてくれる本です。

「泥かぶら」

くすのきしげのり文

ある村に、「泥かぶら」と呼ばれる一人ぼっちの女の子がいました。泥かぶらは、みにくいから、きたないからとみんなからばかにされひどい仕打ちをうけていました。そんな泥かぶらは人を恨み乱暴になるばかりでしたが、ある時、旅の老人が教えてくれました。3つのことを守ると美しくなれると…

編集後記

冬休み明けの初日、10分しかない休み時間に100人以上の児童のみなさんが学校図書館に来てくれました。荷物が多い日に本を持って登校して学校図書館に来てくれてうれしかったです。ただ、本を返す場所がわからない姿も見受けられたので、今一度本の並び方を再確認してもらえたらいいなと思いました。とはいえ、最近学校図書館の様子をみると、本に触れることに抵抗がなく、学校図書館を使うことが当たり前になってきている人が多いように感じます。図書館は人類の知恵がいっぱいつまんでいるところです。そんな図書館を今年もみなさんにたくさんつかってもらえとうれしいなと思います。 学校司書 近江